

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	みどり課長	永井 淳一
まち-13 緑地保全事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	みどり課
総合計画上の位置付け		分野	みどり	施策の方針
				緑の保全等

<b>1 事業の目的</b>		<b>2 平成26年度に実施した事業の概要</b>		
対象	市民等	・寄附金を緑地保全基金に積み立てた。 ・保存樹木、保存樹林、保存生け垣に対して奨励金を交付し、所有者に対して支援した。 ・市街化区域にある緑地を保全するため、土地所有者と緑地保全契約を締結し奨励金を交付した。 ・緑の基本計画に沿って確保した緑地のうち、荒廃が進む恐れのある樹林地等を質的に向上させるための整備業務を委託した。		
意図	美観上優れた樹木・樹林・生け垣の指定や、秩序ある市街地形成に必要な樹林地に対し、所有者の同意を得て、緑地保全契約を締結して保全するため。			
効果	貴重な歴史的遺産と融合した緑地や豊かな自然環境を保全する。			

<b>3 事業費等基礎データ</b>					
データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	人口等のデータ	事業の対象者数	人口等のデータ	事業の対象者数	
人口	177,243人		人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世帯数	80,676世帯		世帯数	80,368世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	35,628	決算値(千円)	39,300	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	8,863	その他	11,735	
	一般財源	26,765	一般財源	27,565	
事業経費運営	人員配置数	2.1	人員配置数	2.1	
	人件費(千円)	16,355	人件費(千円)	15,800	
	総事業費(千円)	51,983	総事業費(千円)	55,100	
	市民1人当りの経費(円)	293	市民1人当りの経費(円)	310	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

**4 評価結果** ※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択

平成26年度事業実施にあたっての課題	緑地保全基金については、厳しい財政状況により平成22年度から市費の積立ができていない状況にあり、毎年、基金残高が減少している。第2次一括法の施行により、近郊緑地特別保全地区の行為の許認可事務等が市に移譲されたため、不許可処分に伴う土地買入れが見込まれることから基金への影響が懸念される。		
課題解決のために行った平成26年度の取組	緑地保全基金は、市広報やホームページ、ツイッターを用いる等した他、募金箱の新規設置、チラシの新規配布などで、広く寄附を呼びかけ、多くの寄附をいただくための取組を進めた。		<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	緑地保全に係る事業に影響がないよう配慮しながら、総合的な行財政の枠組みの中で、市費積立を行う等、緑地保全基金の充実に努め、市民や企業等、国・県とも連携し、緑の基本計画実現に向けた施策を推進する必要がある。		
効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入	△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済	○-2. 既に市民等と協働して的確に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 土地所有者
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	⇒ 見直し <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	⇒ 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	・緑の基本計画実現のため、継続して緑地保全基金への寄附を広く呼び掛けていく必要がある。 ・民有緑地保全のため、継続して土地所有者を支援していく必要がある。 ・確保した緑地の質をさらに高め、その効果が持続的に発現されるよう、適正整備事業を継続していく必要がある。
総評	・緑地保全基金は緑の基本計画実現のために欠かせないものであり、その充実にに向けた取組は継続していく必要がある。 ・民有緑地の保全や確保した緑地の質的な向上については、着実な効果が得られている。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	緑に関する基金の設置								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	どの自治体も緑に関する基金を設置しているが、その活用範囲はそれぞれに異なる。								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方									
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input checked="" type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--